

お葬式

遺族・親族代表あいさつ例文

■喪主(子供)のあいさつ 一父の葬儀一

皆様、本日は雨の中を父、稚夫(仮名)の葬儀並びに告別式にご参列頂きまして誠に有難うございました。

遺族を代表致しまして、お礼を申し上げます。思えば父が病気で入院致したのは、ちょうど一年前の梅雨どきで、やはり今日のような雨の日でございました。入院以来いつも口ぐせのように家に帰りたい、家に帰りたいと申しておりました。それだけに私共も何とかもう一度元気になってもらいたいと思い、看病を続けて参りました。しかし、高齢ゆえそれも叶わず6月29日早朝、眠るように82才の生涯を閉じました。

本日、こうして多くの方々にお見送り頂き父もさぞかし喜んでることと存じます。ここに改めて皆様から頂きましたご厚情に厚くお礼を申し上げます。今後共、亡き父同様のおつきあいとご指導の程、宜敷くお願い申し上げます。皆様、誠に有難うございました。

■喪主(子供)のあいさつ 一父の葬儀一

本日、お寒い中、父の葬儀にご参列頂きまして誠に有難うございました。父は人一倍健康には自信を持っておりましたが、昨年11月10日急に倒れて市民病院に入院致しました。意識はしっかりしておりましたが、左半身が不自由でその上言語障害の後遺症が残りさぞ辛かったと思います。家族交替で看病して参りましたが、遂に病には勝てず、1月21日午前7時15分、市民病院におきまして享年87才の生涯を閉じました。父の生前中は皆様方に大変お世話になり感謝致しております。今日はまた、温かいお見送り下さいまして父も喜んでいてございましょう。この場をおかり致しまして、お礼を申し上げます。

ありがとうございました。

■親族代表のあいさつ

山本家を代表致しまして、ごあいさつ申し上げます。

本日は、あいにくの天候で足元の悪いところ、故 山本勇三(仮名)の葬儀ならびに告別式にご参列下さいまして、誠に有難うございました。おかげさまでとどころりなく終了させて頂くことが出来ました。故人は高齢とはいえず一ヶ月程前まで自転車で走り回っておりましたが、9月12日昼過ぎ脳いっ血で倒れ市民病院に緊急入院致しました。医師団の懸命の治療も空しく遂に意識は戻らず10月10日享年78才の生涯を一期に息を引き取りました。入院中は皆様から頂きました心からの見舞いと、励ましに対し厚くお礼申し上げます。今日は多くの方々にお見送り下さいまして、故人もさぞ喜んでいてございましょう。今後共、変らぬご厚情をたまわりますよう、お願い申し上げます。ありがとうございました。

お葬式

遺族・親族代表あいさつ例文

■喪主(妻) 一夫の急死一

本日は、ご多忙の中、夫の葬儀にご会葬頂き誠に有難うございました。夫、山田正夫(仮名)は7月10日の早朝予期せむ急性心不全により急に亡くなりました。本当に突然のことで、まだ信じられません。一言の言葉もなく、あっという間に亡くなりました。私共としましては、あきらめきれない思いでございます。ただ救いはあまり苦しむことなく、温やかな死に顔でございました。

思えば56才の短い生涯でございましたが、皆様によくして頂き、幸せな人生だったと思います。夫は家庭にあっても私達には優しい人でした。これからはそんな夫に守られず、三人の子供と力を合わせて頑張るつもりです。今後共、皆様のご指導とおつきあいを頂きますよう宜敷くお願い申し上げます。有難うございました。

■喪主(夫)のあいさつ 一妻の葬儀一

皆様、何かとお忙しい中ご会葬下さいまして、有難うございました。生前、親しくおつきあい下さいました皆様に、お見送り頂き妻佐代子(仮名)も喜んでいて存じます。今年3月妻は体がだるいということで病院で検査したところ、肝臓病と診断され4月2日〇〇病院に入院。以来、私と子供達4人が交替で看病を続けて参りました。入院中は自分のことより、子供達のことを気がかりで、1日でも早く家に帰りたいと申しておりましたが、薬石の功も空しく9月5日亡くなりました。享年48才でした。3人の子供達を片づけるまで頑張るといっていただけに、さぞかし心残りだったろうと思うと無念でなりません。この上は、妻の気持に報いるためにも、私が頑張るつもりです。今後共よろしくお願い申し上げます。

有難うございました。

■喪主(子供)のあいさつ 一母の葬儀一

本日は、あいにくの天気の中、参列頂き誠に有難うございます。母も深く感謝致していることと存じます。母は2ヶ月程前、風邪をこじらせたのが因で肺炎を併発し〇〇病院に入院致しました。その後食事もすまなくなり病院の先生方の懸命の治療も空しく4月13日午後0時15分、85才の生涯にピリオドをうちました。天寿を全うしたと申すべきかも知れません。

思えば、母には苦勞ばかりかけ、あと3年でも5年でも長く生きてもらって親孝行がしたかったと悔いが残ります。これからは母の教えをしっかり守っていくのが親孝行だと思っております。

皆様、今後共変らぬご交誼を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。本当に有難うございました。